

22/12/9 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議（第53回）
名古屋市民オンブズマンによるメモ

14:00

鈴木整備室長：始める

上田所長：師走 ご多忙の中ありがとう

南蛮練堀ほか4つ議題

報告 天守台石垣発掘調査 昇降技術公募

忌憚のないご意見を

鈴木：出席者紹介 瀬口、丸山、赤羽、小濱、高瀬、

麓、三浦、藤井 皆見

市教育委員会、名古屋城総合事務所

撮影、録音はここまで

構成員には、議題と報告 どこに位置しているか一図

現状変更実績まとめを配布した

瀬口：事務局から資料の説明を

泉：保存整備室 南蛮練堀

応急対策をしたい

名古屋城：資料2 ページ目

総南蛮練堀と呼ばれていた

名古屋城：3 ページ目 発掘調査

名古屋城：5 ページ

乾燥と湿潤の繰り返し

14:19

瀬口：応急対策素案について

小濱：幕末までは屋根がついていた

屋根はいつなくなったのか 原因は

構造 工法はどの程度わかっているのか

名古屋城：屋根がなくなった原因 文献を確認したら、追えていない 未詳

名古屋城： 工法は検証が進んでいない

小濱：人為的撤去？

工法が分からなければ、「劣化をとどめたい」

風雨 その先はどう考えているか

名古屋城：現存南蛮練堀をこのまま残すのか、

どこかで管理して移動するのか

今後方針の策定を相談したい

小濱：時間がかかるからということで劣化を防ぎたい

風雨から守るには囲ってしまうことが一番いい

遺跡の保存

名古屋城：方針の策定の際にご指摘いただきたい

麓：練堀 屋根がなければ劣化が著しいのは当たり前

江戸期には屋根があった

「屋根だけ撤去する」練堀の存続を認めていない

近代以降 手を付けなくなって放置

瓦も落ちるし、練堀も破損と思う

今回の提案 原因と対策 多少は効果がある

根本的に保存しようとする、風雨にさらさないように

今の状況では屋根をかけられない 覆い屋をどうするか検討

あくまでも遺構 現状保存は覆い屋

見ることはできなくなるが、修理することで本来の姿に復元 不可能ではない

部分的には見せることはできても、元の状態まで修復する

内部には本来の練堀が残っている

どう保存するか、修理するかは考え方による

瀬口：ほかには

赤羽：2点

・3ページ 発掘調査 5行目 トレンチ

練堀南に土塁

- 4 ページ 図3-9 どこら辺に位置するのか
- ・過去2回調査 練堀と庭園の間に通路
- 排水溝があったのか 調査したのか 予定は

名古屋城：図3-9-11 土塁

- 1番 かく乱が入っていた
- 2点目 溝 3ページ 確認した
- 現在の調査区でも確認されている
- 西側は確認できていない
- 土塁図3-14 ここが土塁に当たると考える

赤羽：15.16が土塁ではないかということか

名古屋城：そう

赤羽：溝があったか 練堀から角度をつけて水を離す
排水遺構があったか調べるのが先決だと思う

瀬口：土塁 15.16 10センチくらい 土塁というのか
50センチか

名古屋城：80センチほど
13メートルから12.28メートル

瀬口：20センチもいかない？

村木：土塁 12.3メートル弱
上が13メートル

瀬口：応急対策 現状変更を申請する
6ページにかかっている
桜の木を切る
勾配をつける
異存はないか
この件は文化庁に申請する
今後どう取り扱うかは来年度報告

次の西之丸展示収蔵施設

14:36

久野：名古屋城

前回の全体会議で諮った 変更点を説明する

二番、五番は遺構が確認されていない

舗装の色を変える 変更する方向で

六番御蔵

戸前 白石を設置予定

二番御蔵 L地型 管理車両が通るのでアスファルト舗装したい

米測り場

かやの木の根の影響範囲に入る可能性

鈴木室長：補足説明 六番御蔵

着色の部分 検討をしている

ひさしも含めて土系 違う色にする必要があるか？

瀬口：ご意見を

麓：六番御蔵 修景ポイント

地覆石は砂岩、戸前も白い花崗岩

境界だけを示す

発掘で確認できなくても、地覆石がなく建物が立っていたと思えない

正面は戸前側

地覆石がないような表示をするのは、問題がある

戸前のひさしの柱 丸い花崗岩

柱は角柱 一般的には角の石

一番御蔵と二番御蔵の間の御蔵御門の礎石

名古屋城：礎石は資料修正が間に合わなかった

四角で再現したい

瀬口：地覆石の件は

鈴木：発掘されたものは30センチくらい

礎石のサイズと同じくらい

半分くらいの幅 どういう表現がよいのか

麓：東、南は残っていた表現にする それはよい
西、北 地覆石があったと思う
間知石とは確認できなかった
同じような幅が必要だと思う

鈴木：持ち帰って検討する

瀬口：発掘調査の結果を表現
ないものを幅で表現するのか、あると表現するのか、ないとするのか
次回出して

赤羽：2 ページ4つ
蔵跡がフラット
保護層 きちんと書いて
文化庁と話をするとき、保護層どうするのか
五番御蔵 コンクリートは撤去するのか
できれば、コンクリート枠を撤去するので、六番御蔵のような調査をすべき

鈴木：フラットと表現 保護層にふれていなかったのはごめん
資料に書き込みたい
五番御蔵 コンクリートの基礎 撤去する方向で

村木：五番御蔵 確認が不十分で調査した
それ以外のところ 見つかる可能性
遺構が難しいのかな
調査成果を検討して必要があれば見直す

三浦：確認 一番御蔵 建物範囲 花崗岩
線の位置 柱？壁？
中と外で色を変える？

鈴木：六番御蔵 礎石の外の位置
表現の仕方を変えてはいけないので、一番御蔵も
二番御蔵、五番御蔵も外の位置

丸山：平面図を書かれて、どうなっているかわからないと、

イメージだけでは
実施設計に近い 平面図でないといけない
御蔵御門 礎石が出てきている
四角ではなく加工されていないものが出てきたのか
かやの木 天然記念物 上に工作物をやるのは無理
範囲を広げた中で保存しないと
蔵の表現も違うのではないか

鈴木：作業としては実施設計の作業を進めている
モニタージュ イメージではなく、平面図を作成して
提示して次の段階
平面図は提示する
かやの木 根の張りの範囲 調査する必要
根の上にやるのは難しい
御蔵構えがあった場所
米を測る場所は大事

麓：丸山先生 御蔵御門の礎石の件

名古屋城：御蔵御門の礎石の痕跡
礎石そのものではなく抜き取り痕跡
六番御蔵 ひさしの抜き取りが円形
四角の可能性があった

丸山：図面で表現して よろしく

鈴木：どう表現するか 平面図で示したい

瀬口：一番御蔵 蔵の中に木が生えているのかどうか

鈴木：一部木が残っている
景観が大事 緑陰の形成 このまま残したい

瀬口：緑陰は室長が言った
私はなくてもいいかといった
蔵の中に木が生えているのは異常 なくてもいい

丸山：かやの木は切らないといけなくなる

歴史 かやがあった

なにが一番御蔵 全体では

切るのは簡単 これだけの樹木 放置して市民も親しむ

御蔵にはないから切るのは厳しすぎる

樹木を景観 育てていくメリットも

事務局で検討を

瀬口：意見が違った

再度全体検討会議に報告して

議題3 不明門

15:09

村木：不明門北土橋石垣根石発掘調査

天守台周辺石垣

来年3月 保存方針正式なものをまとめたい

今年3月 鶺の首の発掘調査を諮った

同様の不明門北も調査が必要

鶺の首は文化庁から許可を得た 来週から始めたい

不明門北も今年度中に始めたい

西側を調査した

オルソ 濃尾地震で崩落した

明治期以降に積まれた石垣 境目でうまく積めていない

地下を調査したい

レーダー探査を行った

総栗石だろう

根石部分 レーダー探査ができていない

発掘調査を行いたい

主要な導線 安全のことからよく把握するのは重要

根石状況 調査区

石垣部会に諮った ほかの調査区を設定していた

断面をそろえてはという意見が出た

手掘りを基本

石垣面だけでなく、レーダー探査の結果を読むように

年度内に文化庁に許可いただき、年度内に成果を出したい

15:17

瀬口：質問は
特にないか
現状変更許可を進めて
1時間過ぎたので休憩した方がいいか

鈴木：15：25からはどうか

15：25

瀬口：再開する
基本計画中間報告

荒川：スケジュール

今般一定の進捗となった
主な課題 基礎構造、バリアフリー、石垣保存方針
年度内にとりまとめて全体整備検討会に諮りたい
現在 石垣保存方針、基礎構造 穴蔵石垣調査
改変状況が一部わかってきた
報告題で報告する
穴蔵石垣の修復整備 現天守がある状況では調査に限界
局所にとどまる
確実に保存 どの程度残っているか調査が必要
解体した後調査して検討する
一定の想定のもと 穴蔵石垣
資料に提示できなかった

バリアフリー 今年春からの公募結果

方向性は見えてきた

観覧ルート 具体的なものは資料提示できていない

天守閣部会で諮りたい

資料 4-2 8章でまとめた 一部積み残しはあるが7章までまとまった

資料 4-3 1章

1-16 スケジュール 現天守を解体したのち穴蔵を調査する

第3章

第5章

第6章

第7章

第8章 防災、基礎構造、バリアフリー、石垣

実際に復元する復元計画

観覧計画 維持保全修繕計画
年度末にはまとめたい

15:36

瀬口：基本計画について意見を

高瀬：バリアフリーについての進捗状況は

梅田：報告事項

審査が終わったところ これから

瀬口：すでに説明されたところが多い

全体整備検討会議にはじめて出されたものはどこか

荒川：今回がはじめて

さきに天守閣部会で意見を聞いた

瀬口：天守閣部会は意見を言った

ご意見があれば

赤羽：基本的には木造天守にはあまり賛成ではない

1-15 文化庁が定めた基準

復元、復元的整備 両方の概念が記載されている

名古屋市としては、復元なのか、復元的整備なのか

どういう方向性

荒川：名古屋市としては、天守は復元と考えている

赤羽：可能な限り史実に忠実に行うということか

荒川：そう

赤羽：バリアフリーは大きな問題

日弁連から要望書が出ている 大きな憲法、バリアフリー新法にかかると

私は思う

復元だと言い切る

バリアフリーとの関係は

荒川：昇降技術 柱・梁を傷めない
床に穴はあける
我々としては復元と判断した

小濱：復元で史実に忠実
基本的に、戦災に焼失前の状態にするのか
礎石の配置 書いてある？

荒川：復元原案 当時どういった状況していたか
8章 実際に復元する「復元計画」で説明したい

小濱：大改修した後 そのままだと不具合
6-11 筋交い入れている
取ると、手当てしないと同じような状況になるのでは

荒川：必要に応じて現代技術を入れたい

瀬口：それなりの安全性
文化庁の基準に準じて
史実に忠実といっても、江戸時代まるっきりではない
文化財としての価値は保つ

荒川：そう

小濱：日本の伝統木造 斜材はほとんどない
必要なら筋交いを入れる

丸山：7-7 樹木の移植
遺構が破壊されないか
移植しても根付かない？
中身を知りたい
1メートル掘らないといけない 注意

荒川：そういった場面になってくる
詳細な対策を検討する
ご相談に伺いたい

瀬口：ほかには

赤羽：1-14

意義 ドレスデン宣言

東ドイツ破壊 復元

単に戦争によって破壊の復元 今回のキーワードとして表現

「既存のモニュメント～」

現在の天守のことを言っている

登録有形文化財の性質

新しい木造天守のため？

現在の天守に言える

ウ ローザンヌ憲章 開発と埋蔵文化財の調査

名古屋市 城下町、三の丸、城下町 名城北公園

ローザンヌ憲章が正しく守られているか

文化財保護室に聞いた方がいいのかも

我田引水的な記載が目につく

世界的視座から見た木造復元の意義 気持ちが悪い

瀬口：登録有形文化財とドレスデン宣言をくっつけるのは誤解

イギリス ディスティーニング

日本の登録有形文化財 文化財予備軍

赤羽さん文化財行政やっていたからご存じ

言い過ぎでは

ローザンヌ憲章 再建しようとするなら調査しなさいよ

十分天守閣、本丸御殿 もっとやった方がいい

今やれる範囲でやっている

なかなか頑張って書いたな オーセンティシティ

鉄筋コンクリートと木造復元はまるっきり違う

麓：これまで整備計画、基本構想を出してきた

単に現状維持を目標ではなく、文化財としての価値を高めるには

どうすればよいか検討してきた

その一環で本丸御殿を史実に忠実に復元した

天守も史実に忠実に復元しようとしてきた

特別史跡の価値を高めるためと理解している

復元的整備ではなく復元だと言い切るのには自信がある

可能な豊富な資料 ほかの城郭、焼失した文化財で最も可能な案件
行為をすることは高める行為だと考える

瀬口：木造復元の価値 根本的なこと
いくらでも議論をしていただいてもいい
復元的とは資料があまりない
似て非なるものと考えないといけない
よろしいでしょうか
白抜きになっているところ 今後引き続き検討を続ける
本日提示 根本的なものはなかったと私は理解している
本日の議事を終了したい

15：56

鈴木：報告題2つ

名古屋城：資料5

穴蔵石垣調査

近世段階の石列が良好に残存することが確認された

石垣下から再建時の工事土が確認された

上部石垣の時期が確定できていない

橋台調査

近世盛り土、石垣、捨て石を確認

穴蔵石垣背面調査

1メートルほど掘削

近世の遺構の残存状況は確認できなかった

現状ではこれ以上はできない

穴蔵石垣調査追加調査 東へ2メートル 調査開始

16：05

鈴木：質問は

よいか

報告2つめ

梅田：担当

4月公募 先月末審査

史実に忠実に復元 バリアフリー

資料6 4社が資料を提案した

最低要求水準 大天守 1 階までは到達すること
点数は評価委員 6 名の平均点
MHI エアロスペースプロダクション
竹中と具体的な設置場所、観覧や避難計画
全体の計画を詰めたい

16:09

鈴木：質問は

小濱：MHI 駆動部はどんなもの？
油圧とか、空気とか

梅田：ノウハウが入っている
これから開発を進める
油圧ではなくほかの方法と聞いている

小濱：秘密 具体的なことがわかる

鈴木：ほかは
報告 2 点 予定の内容は以上
以上をもって終了

16:10